

ISO9001 及び 14001 認証取得組織 様

DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

代表取締役社長 前田直樹

**Date:**

2015/08/04

Tel: 078-291-1321

Fax: 078-291-1329

## ISO 9001:2015, ISO14001:2015 認証への移行に関するご連絡 (第 2 報)

拝啓、益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。

本年 4 月の表題第 1 報に引続き、下記第 2 報としてご連絡をさせていただきます。

### (1)規格改定状況と移行期間、認証書の取扱い

- ・既に御存知の通り、規格の改訂は予定通り着々と進んでおり、本年 7 月 2 日に ISO14001、7 月 9 日には ISO9001 の FDIS 版が発行されました。引続き、夫々 9 月の中旬から下旬には最終的な ISO が発行される見込みです。
- ・新規格発行後 3 年の移行期間の間に現行規格から新規格への移行を行って頂く必要があります。
- ・移行監査の際には、差分チェックの為の付加工数が必要となる見込みです。
- ・移行期間を含めて現行規格にて更新監査を受けられる場合は、最大でも現行規格の移行期間（2018 年 9 月）までの認証書を一旦発行させていただきます。その後移行監査を受けられた後に、本来の有効期限を記載した認証書を発行させていただきます。
- ・組織様の実際に移行監査が可能な時期に付きましては改めて御案内をさせていただきますが、現時点では社内の力量管理や認定の移行準備終了後、2016 年年初から移行監査が可能な体制が出来る見込みです。

### (2)規格移行の為の弊社サポート内容・体制

- ・既に昨年 DIS のセミナーを実施し多数の受講を頂きましたが、引続き今年 8 月より FDIS の内容を含んだ組織様向け無料セミナーを企画・御案内をさせて頂いております。お客様のご要望にお応えする為増席いたしましたので、1 社 2 名様のところ 1 社 4 名様まで枠を広げさせて頂きました。定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めのお申込を御願ひ致します。セミナーの詳細、日程等はこちら URL <https://webmagazine.dnv.co.jp/389>
- ・新規格内容と組織様のシステムとの差分をチェックする GAP 分析サービスも準備しております。FDIS に基づく GAP 分析サービスを受けて頂く事で、事前にシステムチェックをして頂けると同時に、移行監査の際の付加工数を省略できるという利点も御座いますので、この機会を積極的に使って頂ければ幸いです。
- ・具体的なスケジュール、実施方法につきましては、現規格から新規格への変更内容と併せ、弊社 Web サイトに掲載して参りますので併せてご確認下さい。

URL [http://www.dnv.jp/services/certification/about/iso\\_revised/index.asp](http://www.dnv.jp/services/certification/about/iso_revised/index.asp)

- ・規格の変更内容、移行の取決め等々に関するご質問がございましたら、弊社の下記担当で対応をさせて頂いておりますので、お気軽にお問合せください。

神戸事務所：共用メール [japan.info@dnvgl.com](mailto:japan.info@dnvgl.com)

電話 078-291-1321

見積・契約関係その他全般的なお問い合わせ

規格変更内容に関するお問い合わせ

移行要領に関するお問い合わせ

営業部 深町 正規 (Masaki.Fukamachi@dnvgl.com)

技術部 戸塚 丈博 (Takehiro.Totsuka@dnvgl.com)

品質部 赤倉 毅 (Tsuyoshi.Akakura@dnvgl.com)

以上、宜しくお願ひ申し上げます。

敬具

DNV GL Business Assurance Japan KK Sannomiya Chuo Bldg.9th Floor, 4-2-20, Goko-dori, Chuo-ku, Kobe 651-0087